

平成28年度 第2回久留米市有線放送運営委員会 会議録

日時	平成29年3月27日（月） 14時00分～15時00分
場所	田主丸総合支所2階 202会議室
出席者	大熊委員、堺委員、草場委員、野村委員、原委員、立石委員、秋山委員、西野委員、木下委員、石井委員 以上10名 室井委員欠席
事務局	松尾支所長、吉岡次長、久次主幹、國武主査、稲富、大石
傍聴者	なし

次第	内 容 等	
1 開会	事務局	1 開会
2 協議事項	事務局	<p>(1)有線放送落雷故障に係る経過について</p> <p>(2)有線放送不具合の状況について</p> <p style="padding-left: 2em;">(1)・(2) 説明</p> <p>【質疑応答】</p> <p>委員① 10年程前は、各区長宅の放送器（アンプ）のコンセントを雷の際は引き抜くよう指導があった。アンプは公民館にあるため、コンセントを抜きに行くことは難しい。総合支所と同様、集落到落雷も有り得る。</p> <p>委員② パソコンなど、コンセントを抜くと落雷被害がないという話はよく聞く。</p> <p>事務局 本体機器は、雷により過去2回被害を受けている。それを受けて、雷がひどいときは、本体のコンセントを抜くようにしているが、雷が電線から逆流してくることもある。今回、アースに繋いだことでどれくらい対処できるかわからないが、やはり雷が激しいときには、本体のトラブルが発生するよりも、本体の電源を切るなどして放送をとめたほうが良いと考える。</p> <p>委員② 9月27日は、体育祭の役員協議会を行っていたが、雨と雷はひどかった。</p> <p>事務局 総合支所でも、雷によりシステムダウンした。電話交換機の故障により電話が不通となった。</p> <p>委員② 総合支所の本体機器が雷の被害を受けても、集落の放送に関係は無いのか。今回、集落の放送は出来ていたようだ。</p> <p>委員③ 雷被害は、建物に直接雷が落ちる場合と、ケーブル等を伝わってくる誘導雷があるが、アースのとりかたが不完全であったので、今回被害を受けたのではないかと想像する。</p> <p>誘導雷で過大電流が流れたら、今の機械は半導体なので壊れやすい。建物だけに被害がおきたのではないか。</p> <p>事務局 本体の放送と区の放送は分かれているため、別に放送ができる。今回は、本体機器のみ被害をうけて、区の放送は出来たという状況である。</p>

委員②	区の放送が全部出来たわけではなく、一部放送出来ないところもあった。
事務局	アンプの故障により一部放送出来ない区もあった。
委員長	先ほどコンセントを抜くという話があったが、今はそのような指導はしていないのか。
委員②	コンセントを抜いて変わるのか。
委員③	電線からの誘導雷は遮断できるのではないか。ケーブルからきたものに関しては、別に遮断する装置がないと厳しいと思う。
委員①	半減すると思う。区長のとときにそのような指導をうけたため、年2～3回は夜中でも公民館まで行っていたが、雷が激しいときは行くのも恐怖感を感じる。アンプが自宅にあるときは容易に出来るが。
事務局	委員長が尋ねられた件は、本来は指導すべきところであるが、不足していた。今後の対策として、どのタイミングでお願いするのかというものはあるが、コンセントを抜くといくことは直撃を避けることになるので、今後考えていかなければいけない。
事務局	(3)有線放送事業における課題について (4)今後の進め方について (3)・(4)説明 【質疑応答】
委員長②	廃止というのはあるのか。
事務局	現状からいうと合併をして、ある一定設備投資をしている。今すぐ廃止ということではなく、有線放送をいかに有効活用していくか。ただ、運営母体について、行政がやるのか、負担金をとるのか、自治会に譲渡するのかという方向性を見出す検討は必要になると思っている。廃止するというのも費用も発生するし、すぐに廃止ということにはならないと思う。
委員②	防災の面において、野外にある防災無線はどれほど役にたつのか疑問である。風等で聞こえないだろうし、今の家は隙間も少ないので聞こえづらい。緊急のときに役に立つのかどうか。有線放送は即時性がある。久留米市内において田主丸だけとは言われるが、良いものなので、廃止するというのであれば、逆に全市に有線放送を広げていくべきではという考えをもっている。
事務局	廃止ということではなく、活用の仕方が課題になってくると思われる。防災無線の活用も含めたところで、有線放送について検討していく必要がある。防災ラジオ等の活用の仕方についても考えていかなければならない。
委員②	高齢化に伴い、機械は中々理解しにくい。若い人はパソコンやスマホ等扱っているが高齢者は新しいものに対して厳しいのでは。

事務局	<p>そういった状況もあるので、活用方法について検討をしていかないといけない。</p>
委員④	<p>先日老人会の総会があったときに、森部の火災について、放送がないため不安であるという意見があった。今はスマホなどの手段はあるし、職員を現場に向かわせるため放送がない旨説明をしたら、家族もいないし、サイレンが鳴っているのにどこが火事か分からないのは不安、火災の放送は何十年とあってきたのに、なぜなくなったのかと言われた。</p>
事務局	<p>火災放送について、今までやっていたが、消防署としては全員火災現場に行くということになっている。現状、勤務時間中については、総合支所の職員が放送するようにしているが時間外については、スマホ、近所情報等により情報を得るしかない。</p>
委員⑤	<p>28年の4月から地域住民の理解を得た上で、建物火災、山林火災について消防署の方から行っていた放送をやめた。平日の勤務時間中については、総合支所に放送をお願いし、それ以外は放送せず、現場に向かうのを優先させていただくようにしている。森部の火災の時は、(消防署に)なぜ放送しないのかという問い合わせは3件程あった。</p>
委員①	<p>(消防署の放送がなくなったことについて) 振興会としては、自治会長を通じて下ろしているつもりであるが、まだまだ周知が出来てないかもしれない。</p>
事務局	<p>今後のスケジュールということで、諮問、答申という計画をあげているが、50年有線放送が使われてきた中で、他に様々な情報伝達手段が出来ている。ここは有線放送運営委員会という場であるが、情報伝達手段のあり方について検討していただく場であると思っている。田主丸地域だけの話をするつもりもなく、有線放送の機能を今の媒体に置き換えたときに、どうやって必要な情報を必要な時に伝えていくのかというのを、この場で検討して頂ければと思う。逆にそれを全市に提案していくような役割を持っている唯一の組織ではないかと思っている。</p> <p>先ほどスマホの話も出たが、防災ラジオや防災無線など音で伝える媒体以外にも、耳の不自由な方についてはメールという方法もある。様々なものの組み合わせを含めて、情報伝達のあり方をこの場から提案していったいいのではないかと思っているし、今まさにこの場で論議されているようなことを今後ご提案頂ければと思う。そういった意味で議論をお願いしたい。</p>

委員①	<p>諮問と答申について、市長からこの運営委員会に諮問されるのか。</p>
事務局	<p>附属機関であるので、市長にとっては諮問機関という役割を担っている。有線放送運営委員会は、事業運営について意見を頂く機関となっているが、広い意味で、情報の伝達という点では唯一の組織だと思う。</p> <p>組織的な性格を変えていくとなると、全体的な調整は必要になってくるが、全市的な意味合いとしての提案をしてもいいのではないかと。</p> <p>ただ有線放送の権限については、この場にしかないもので、そういった意味では発信する素地はこの委員会には充分あると思っている。</p>
委員②	<p>今は翻訳でも、喋ればすぐに韓国語や英語に翻訳されたりと、技術も進んでいる。せっきやく変えていくのであれば、即効性があって簡単に皆が使えるものも検討してもらいたい。すぐ廃止して、防災無線に切り替えますではなくて。テレビの緊急地震速報などのようなものもあるし、様々な方法があると思う。</p> <p>このメンバーでそこまで考えるのは難しいかと思うが。</p>
委員③	<p>去年の地震はエリアメールで情報を得た人がほとんどだと思う。別意見として、今は防災情報がラジオで流れるようになっている。他の地域は分からないが、川会校区はサービスエリアが充分ではなく、自治会長からラジオが入らないという意見を聞く。入らないものを持っていてもしょうがないという意見もある。外部アンテナを繋げば入るのであろうが、そこまでは出来ない人が多い。せっきやく防災ラジオを配布しているのだから、サービスエリアを広げればそのような機能も果たすのではないかと。</p>
委員①	<p>有線放送のスピーカーは全世帯についているのか。</p>
事務局	<p>転入されてもスピーカー新設の申請がないと設置にはいかない。自治会長を通じて、もしくはご自身で申請をされる場合が多い。全世帯についているとは言えない。</p>
委員③	<p>今は、スピーカー新設の費用は頂いているのか。</p>
事務局	<p>新設は無料になっている。</p>
委員②	<p>交換はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>壊れているものに関しては無料。</p> <p style="text-align: center;">以上の意見等を受けて、検討をすることで了承される。</p>

<p>3 その他</p>	<p>事務局 委員長 事務局 委員⑥ 事務局</p>	<p>3 その他 資料説明 他市視察の報告について</p> <p>以前も全国の類似した自治体の資料が提示されたと思う。30年度はそういった資料を基に皆さんで協議して頂いて、市長に答申を返すようなかたちになると思う。専門的な知識を持った業者の方も呼んで話を聞かせてもらえるといいのではないか。29年度は支線の状況などの調査を仕上げ資料を作成するとのことですので、そういったことまで含めてよろしくお願ひしたい。</p> <p>この協議会の中で検討しやすいように資料を集め、施設状況についても台帳で整理出来ると話もしやすくなる。委員長の言われるように、専門的な方のアドバイスについても考えていきたいと思う。</p> <p>資料を見ると、田主丸が優遇されているように見える。全部市がやっていますという風に。有線放送は田主丸町がやってきたことで、合併して残してもらったものである。</p> <p>これまでの災害時にいかに有線放送が活用されたかということ市は分かっているはずである。全市に有線放送をしたらいいのではないかと。金がかかり過ぎると言われたが、金がかかりすぎると命が救われるのと、どちらがよいかということ言っている。</p> <p>前回は若干触れていたが、近年の状況として廃止を求める意見は議会で出ていない。せつかくあるのなら、有効に使いなさいという話が出ているが。さらに久留米市の監査委員からも有効に使ってくださいという意見を頂いている。億単位のお金をかけて鋼管柱に変えているので、今すぐ廃止ということは考えづらく、有効活用ということになると思っている。</p> <p>災害の面で先ほど話も出たように無線が聞こえないという話は実際あるようである。そうすると、伝達手段は複数持つておかないと、命にかかわることになるため、有線放送に意義があるということについて誰も否定していない。先程、委員⑥から有線放送を全市に広げるという話もあった。そういった意味で、先程言ったように、こちらから提案して全市に広げていく方法もあるのではないかと。これからの論議になるかと思うが、よろしくお願ひしたい。</p> <p>以上の意見等を受けて、検討をすることで了承される。</p>
<p>4 閉会</p>		